

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の 利用目的及び 利用方法》	●研究の名称 拡張期冠動脈内圧と冠微小循環指標の関係性の検討
	●研究の対象 2023年1月1日から2025年12月31日までの期間に、通常診療として冠動脈造影検査を施行し、熱希釈法による冠血流予備能を測定した患者
	●研究の目的 狭心症症状を有しながらも冠動脈造影で有意狭窄を認めない症例では、冠微小循環障害（Coronary Microvascular Dysfunction：CMD）の関与が疑われます。CMDの評価には、冠血流予備能（Coronary Flow Reserve：CFR）および微小循環抵抗指数（Index of Microvascular Resistance：IMR）の測定が推奨されています。これらの指標は主に熱希釈法を用いて測定されますが、薬剤による患者負担や手技の煩雑さが課題となっている。近年、冠動脈内圧データから CFR を推定する Pressure-bounded CFR (pb-CFR) が提唱されているが、熱希釈法による CFR との相関性や一致性は限定的であり、真の CFR を過小または過大に評価する可能性があります。微小血管抵抗が最も安定する拡張期における圧指標（拡張期 Pd、Pa、Pd/Pa 比）と CFR・IMR との関連性についての報告は少ないです。 本研究では、拡張期における冠動脈内圧指標と熱希釈法による CFR および IMR との相関性・一致性を検討し、拡張期圧指標の有用性および限界を病態別に明らかにすることを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可から2027年12月31日まで

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日</p>
	<p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 病歴、治療歴、身体所見、血液検査、心臓カテーテル検査所見等</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 内科学第三講座 助教 佐藤照盛</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にご希望をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 内科学第三講座 担当者： 佐藤照盛 TEL： 053-435-3646 E-mail： tesato@hama-med.ac.jp